

高次脳機能障害について



社会福祉法人 名古屋市総合リハビリテーション事業団
なごや高次脳機能障害支援センター

高次脳機能障害支援コーディネーター

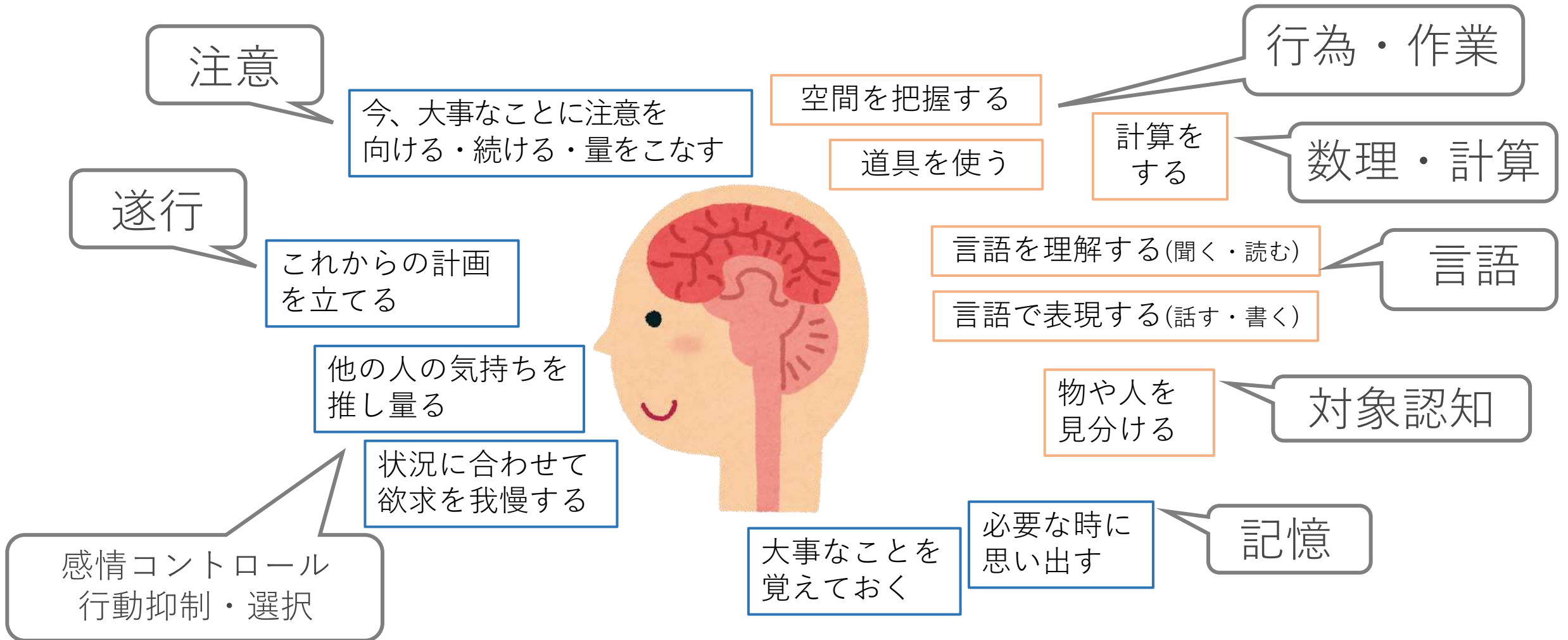
尾関 諭

本日の内容

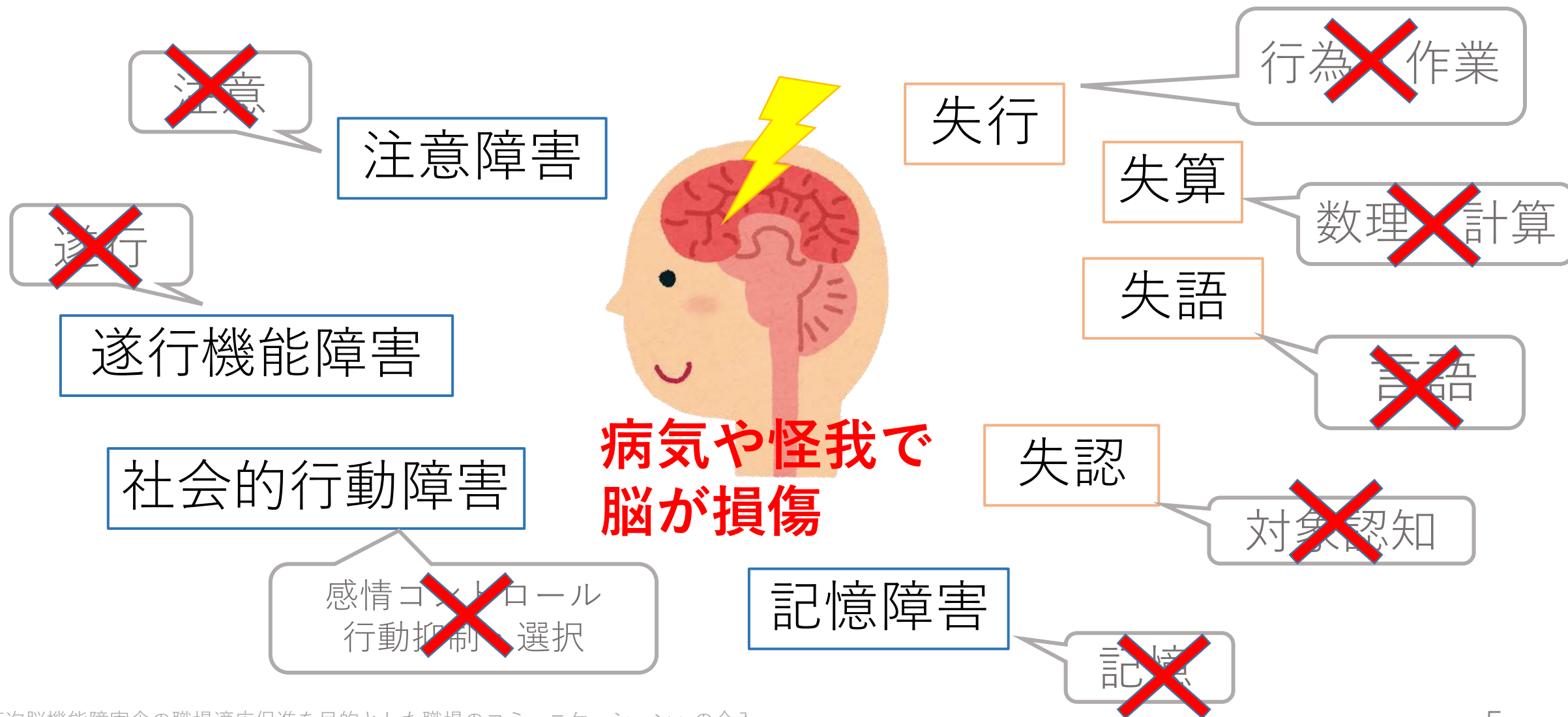
1. 高次脳機能と高次脳機能障害
2. 高次脳機能障害の基礎知識
3. よくある相談例
4. 名古屋市総合リハビリテーションセンターの高次脳機能障害支援
5. まとめ

1. 高次脳機能と高次脳機能障害

高次脳機能とは？



高次脳機能障害とは？



高次脳機能障害の

医学的定義

と

行政定義

- ・失語（言語の障害）
- ・失行（行為・作業の障害）
- ・失認（対象認知の障害）

＝脳の損傷部位が明らか → 身体障害として支援

- ・ **注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害、記憶障害**

＝日常生活困難 ←→ 脳の損傷部位を説明しにくい

→ 診断・リハビリテーション・生活支援の方法が未確立

→ → 行政的に「**高次脳機能障害**」と定義し、支援対象に

診断基準

(行政的に次にあてはまる認知障害を「高次脳機能障害」と呼ぶ)

I. 主要症状等

1. 脳の器質的病変の原因となる事故による受傷や疾病の発症の事実が確認されている。
2. 現在、日常生活または社会生活に制約があり、その主たる原因が記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害などの認知障害である。

II. 検査所見

MRI、CT、脳波などにより認知障害の原因と考えられる脳の器質的病変の存在が確認されているか、あるいは診断書により脳の器質的病変が存在したと確認できる。

III. 除外項目

1. 脳の器質的病変に基づく認知障害のうち、身体障害として認定可能である症状を有するが上記主要症状（I-2）を欠く者は除外する。
2. 診断にあたり、受傷または発症以前から有する症状と検査所見は除外する。
3. 先天性疾患、周産期における脳損傷、発達障害、進行性疾患を原因とする者は除外する。

IV. 診断

1. I～IIIをすべて満たした場合に高次脳機能障害と診断する。
2. 高次脳機能障害の診断は脳の器質的病変の原因となった外傷や疾病の急性期症状を脱した後に行う。
3. 神経心理学的検査の所見を参考にすることができる。

※なお、診断基準のIとIIIを満たす一方で、IIの検査所見で脳の器質的病変の存在を明らかにできない症例については、慎重な評価により高次脳機能障害者として診断されることがあり得る。

また、この診断基準については、今後の医学・医療の発展を踏まえ、適時、見直しを行うことが適当である。

愛知県 高次脳機能障害支援拠点機関

◆社会福祉法人 名古屋市総合リハビリテーション事業団

【なごや高次脳機能障害支援センター】

名古屋市瑞穂区彌富町字密柑山1番地の2

TEL：052-835-3814

◆特定非営利活動法人 高次脳機能障害者支援「笑い太鼓」

【高次脳機能障害愛知県東部支援センター笑い太鼓】

愛知県豊橋市花田一番町72番地 東和西駅前マンション101号
室

TEL：0532-34-6098

高次脳機能障害支援コーディネーター

法的根拠

高次脳機能障害者に対する相談支援は、**障害者総合支援法**の第3章：**地域生活支援事業**で定めている、市町村が行う「一般的な相談支援」および都道府県が行う「専門性の高い相談支援」に位置づけられている

支援コーディネーターについて

都道府県は、高次脳機能障害者への**支援拠点機関**および**支援コーディネーター**を配置し、高次脳機能障害者に対する**専門的な相談支援**、関係機関との**地域支援ネットワーク**の充実、高次脳機能障害に関する**研究等**を行い、適切な支援が提供される体制を整備することや、自治体職員や福祉事業者等を対象に**研修**を行い、地域での高次脳機能障害者支援の**啓発と普及を図る**ことが定められている

2. 高次脳機能障害の基礎知識

高次脳機能障害の原因となる主な疾患

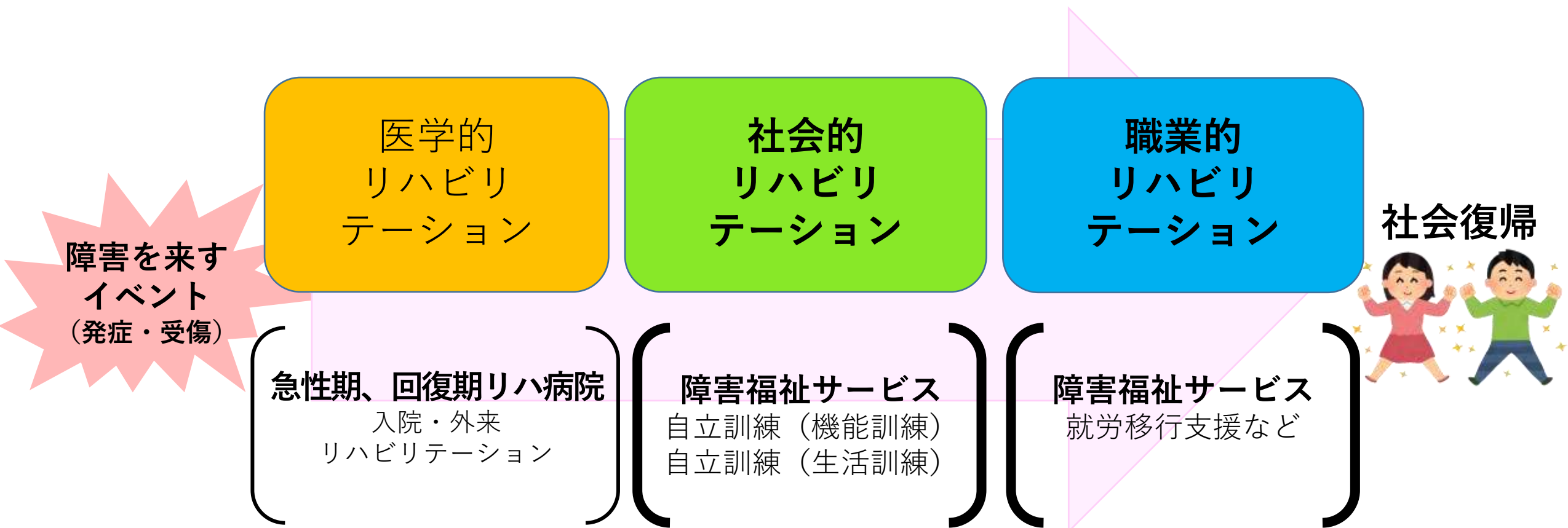
- ・ 脳外傷
- ・ くも膜下出血
- ・ 低酸素脳症
- ・ 脳炎 など

広範な脳損傷を生じやすい疾患
→ 前頭葉機能不全による社会的
行動障害に強く関係

- ・ 脳内出血
- ・ 脳梗塞 など

局所的な脳損傷を生じやすい疾患

高次脳機能障害のリハビリテーション（社会復帰支援）について



高次脳機能障害の主な症状

記憶障害

- ✓ 新しいことを覚えることが苦手になった
- ✓ すぐに忘れてしまう
- ✓ 何度も同じ事を聞いてしまう
- ✓ 大事な物を置き忘れる
- ✓ 約束を忘れる



高次脳機能障害の主な症状

注意障害

- ✓ ぼんやりしてしまう
- ✓ うっかりミスが多い
- ✓ 同時に複数のことに注意を払えない
- ✓ 集中力が続かない



高次脳機能障害の主な症状

遂行機能障害

- ✓ 計画をたてて、段取りよくものごとを実行することができない
- ✓ ものごとを関連づけて考えることができない
- ✓ 要領が悪い
- ✓ 優先順位がつけられない
- ✓ 融通が利かない



高次脳機能障害の主な症状

社会的行動障害

- ✓ 感情を適切にコントロールできない
- ✓ イライラしやすい
- ✓ 我慢ができない
- ✓ 無気力になってしまう
- ✓ 子供っぽくになってしまう
- ✓ 自分の障害を適切に認識できない





すべての方に、すべての症状が出るわけではありません
また、程度も人それぞれです



3. よくある相談例

ご本人が困って・・・

- 報道で高次脳機能障害のことを見たんだけど、自分に当てはまるので・・・
- 事故前のように仕事がこなせなくなった
- 仕事がなかなか見つからない。ハローワークで相談したら一度病院で検査してみたらどうかと勧められた

ご家族・支援機関が心配して・・・

- 受傷後、仕事に戻ったものの退職となり何もせず家でゴロゴロしている
- 人が変わったようにイライラしやすくなり、物に当たったり、家族に暴言がある
- 家事がこなせなくなった
- 学校に復学したが、勉強についていけなくなり、成績が低下した
- 相談に来られた方が高次脳機能障害があると思うんだが・・・
- 病歴を確認すると、高次脳機能障害が疑われるので診断してほしい
(他院の主治医から)

職場が困って・・・ 事故や病気の後、復職or新規就労したものの・・・

- 仕事でミスが多発
 - 発症や受傷以前の仕事ができない
 - 指示を忘れてしまうので、何度も同じ指示をしている
 - 職場内での人間関係・コミュニケーションがうまく取れない
 - 感情が不安定
 - 職場のルール（遅刻・欠勤・休暇など）を守れない
- ↓
- 同僚・上司・産業医から受診を勧められて、、、

どうして高次脳機能障害のある方の支援は 大変なのか・・・？

発動性の低下・記憶障害・注意障害・遂行機能障害

認知機能の低下

著明な身体麻痺が無い場合もあり

見た目ではわかりにくい障害

自分で自分のことを正しく理解することが難しい

- ★本人ができると思っていることと、実際にできることにギャップが生じる
- ★必要な補償行動が十分にとれない

4. 名古屋市総合リハビリテーションセンターの 高次脳機能障害支援

名古屋市総合リハビリテーションセンター 高次脳機能障害支援の経緯

平成13年：厚生労働省高次脳機能障害支援モデル事業を受託（～平成17年）

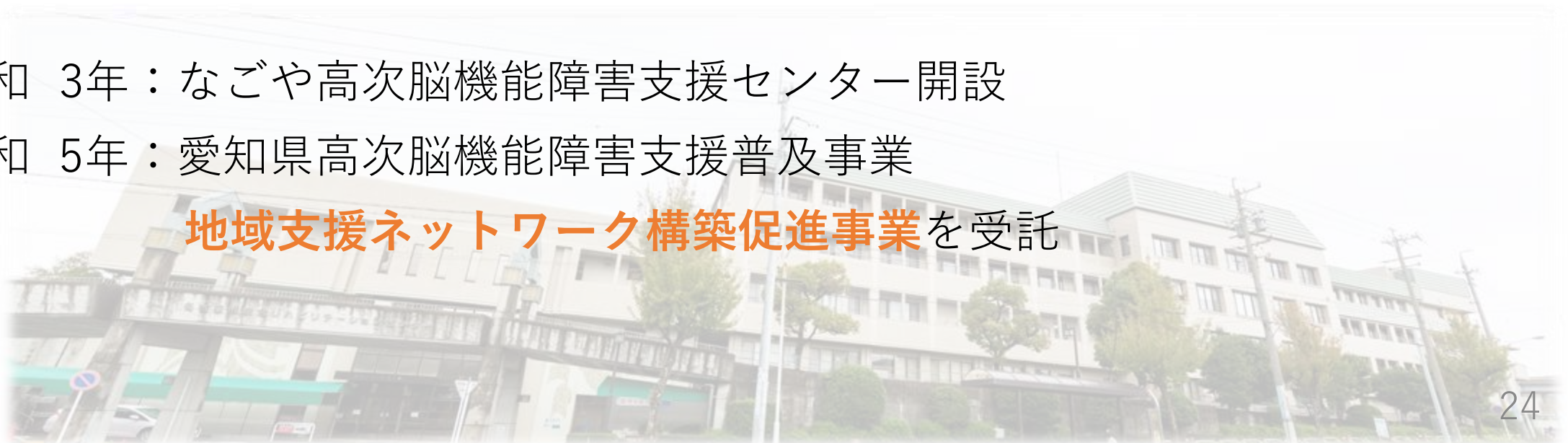
平成17年：名古屋市高次脳機能障害支援事業の開始

平成18年：愛知県高次脳機能障害支援普及事業を受託

令和 3年：なごや高次脳機能障害支援センター開設

令和 5年：愛知県高次脳機能障害支援普及事業

地域支援ネットワーク構築促進事業を受託



事業内容（～令和6年度）

市

診断

- ・ 医師の診断
- ・ 療法士による高次脳機能評価

リハビリテーション

- ・ 医学的リハビリ(OT、ST、心理)
- ・ 福祉的リハビリ(自立訓練)
(就労移行支援)

専門相談

- ・ 概ね15～65才の高次脳機能障害者および家族
- ・ 支援機関のバックアップ（ケース会議等）

人材育成 ネットワーク

- ・ 基礎研修
- ・ 応用研修

普及啓発

- ・ 講習会
- ・ 情報提供

県

名古屋市高次脳機能障害支援事業

愛知県高次脳機能障害支援普及事業

支援の三本柱

専門相談

高次脳機能障害のある方が自立した社会生活を営むことができるよう支援します。高次脳機能障害のある方の自動車運転再開の相談、失語症のある方やご家族・支援者の方の相談、高次脳機能障害のあるお子さんの就学支援にも取り組みます

地域連携 普及啓発

地域の支援実態を把握し、関係機関との連携を図ります。また、高次脳機能障害についての正しい理解を普及啓発するために講習会の開催やリーフレットの作成と配布を行います

人材育成 研修

地域での支援体制の確立を図るため、関係機関に対して高次脳機能障害や関連障害である失語症についての研修や支援技法についての研修を行い、人材育成に努めます

対象者

- おおむね15歳から65歳以下の生産年齢層＝社会復帰目標の方が中心
- 高次脳機能障害の診断を受けていないが、受傷時の脳損傷のMRI画像所見がある方
- 発症や受傷後に注意力や記憶力、感情コントロール低下などの課題が、社会生活上見られる方
- 高次脳機能障害がある方の支援に関わっている方（医療機関や障害福祉サービス、介護保険サービス等の事業所）
- 受診を希望している方（診断と継続受診）

（名古屋市立大学医学部附属リハビリテーション病院脳神経内科）



支援の内容

医療機関と連携を図りながらの
専門的な相談支援の提供

講習会・研修会の開催
地域への支援コーディネーターの訪問

**高次脳機能障害のある方の
自動車運転再開に関する相談**

失語症のある方の支援・相談

**高次脳機能障害のある児童
（小・中学生）の就学支援**

令和3年のなごや高次脳機能障害支援センター開設によって

After

- 支援Co. + 医師・作業療法士・言語聴覚士・公認心理師
(令和7年度から看護師も加わり、合計9人体制に)
- 直接/個別相談の充実化 (専門的な相談対応)
- グループワーク、講座などの開催



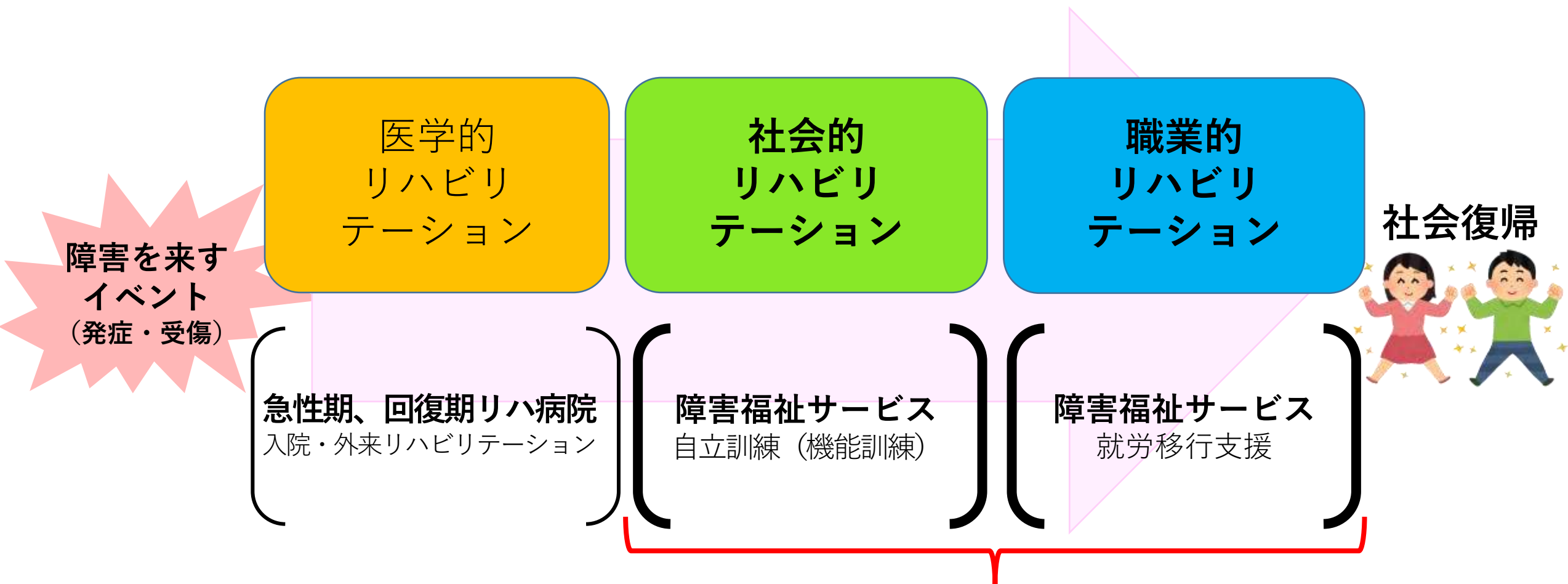
- ガイドブックなどの情報充実化
- 学校、失語症サロンでの出張相談、運転免許試験場など幅広い機関との連携
- 研修会開催による普及啓発



Before

- 支援Co.3人体制
- 直接/個別相談が主

高次脳機能障害に関わる社会復帰支援と 名古屋市総合リハビリテーションセンター障害者支援施設の位置づけ



名古屋リハ障害者支援施設

5. まとめ

皆様へのご協力お願い

高次脳機能障害？早期発見につながるポイント

- **外傷性脳損傷**（交通事故等）や**脳血管障害**のエピソード
- 高次脳機能障害の特性が見受けられる
（**注意障害、記憶障害、遂行機能障害、社会的行動障害**）
- 本人に自覚はないが、家族や職場関係者が困っている
（「性格が変わった」「別人のように・・・」）
- 精神科にかかって投薬しているが、何かしっくりこない
- 病院でS Tのリハビリを行っていた
- 抗てんかん薬を服用している

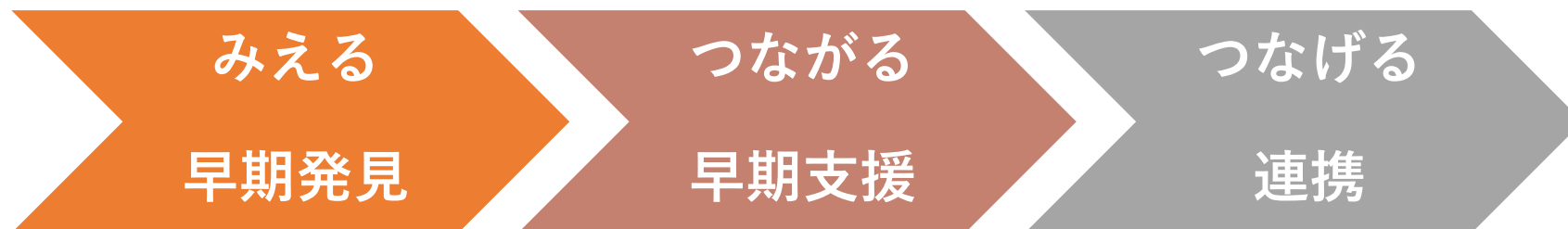
などなど

- 長い年月（数年～数十年）を経過して、相談に来られる方がまだまだおられる現状

→受傷・発症後、適切な時期から支援に関われるよう
気軽にご相談ください！

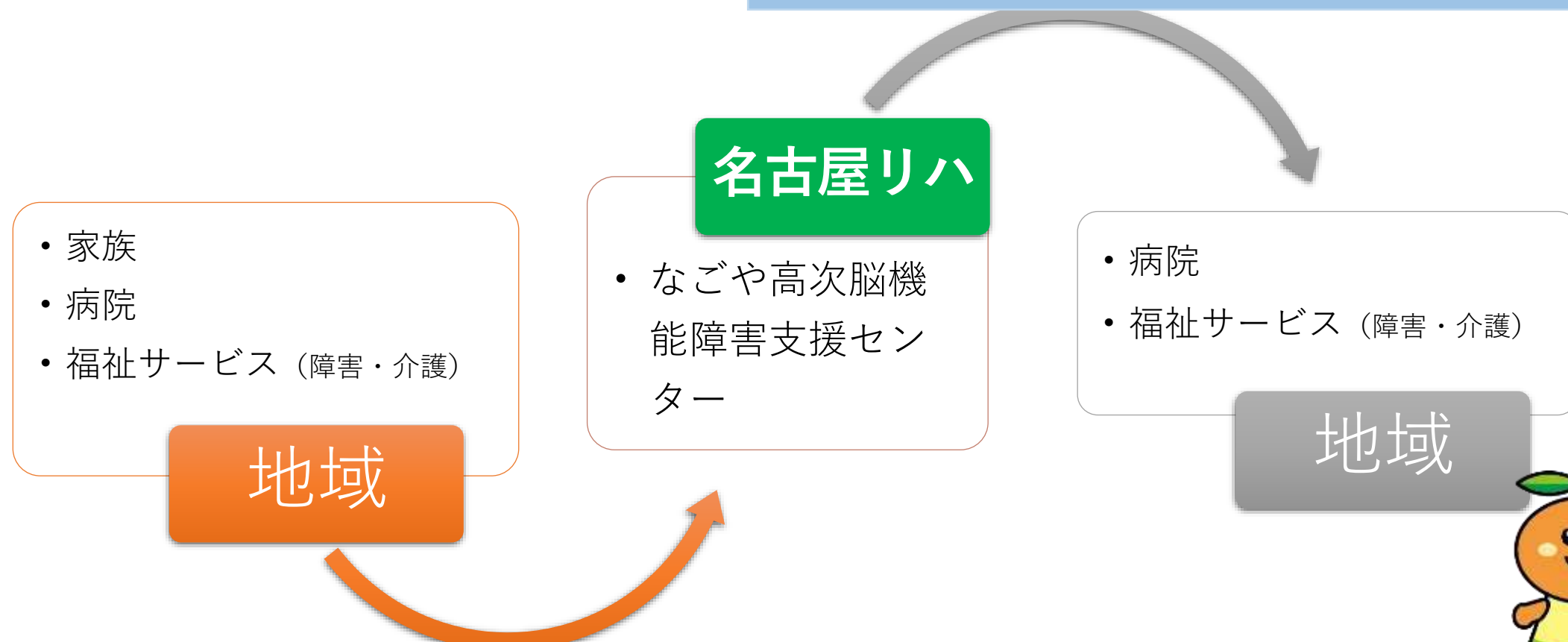
- 1時間以上かけて愛知県内から来院される方も多いう現状

→できるだけ身近な地域での支援を受けられるように、
今後ますます皆さんと連携を深めていきたいと思いま
す！！



目指すところは・・・

身近な地域での支援を・・・



適切な時期に適切な支援を・・・



お気軽にご相談ください



なごや高次脳機能障害支援センター

052-835-3814



研修会案内、資料ダウンロードなど

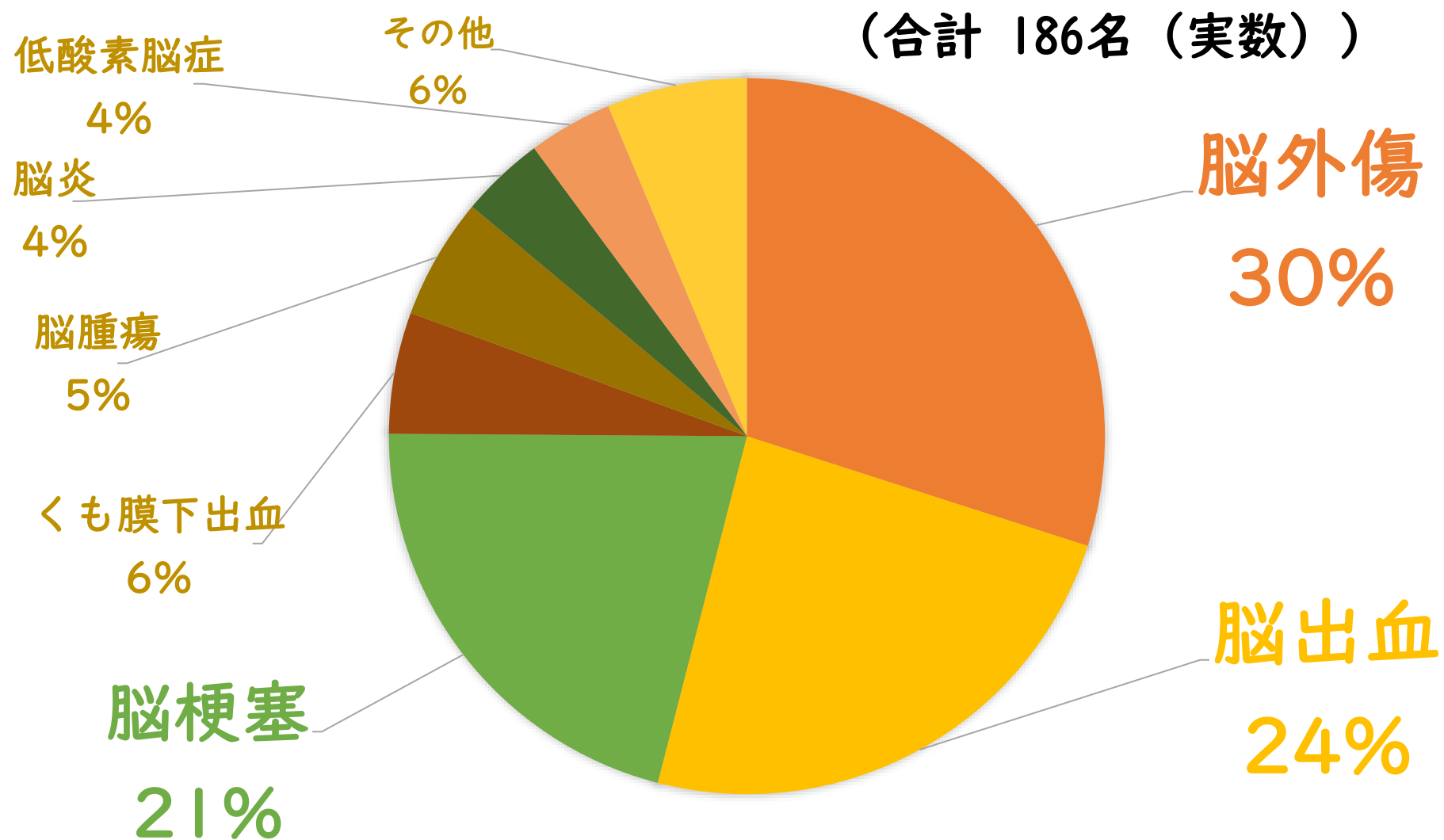
なごや高次脳機能障害支援センター



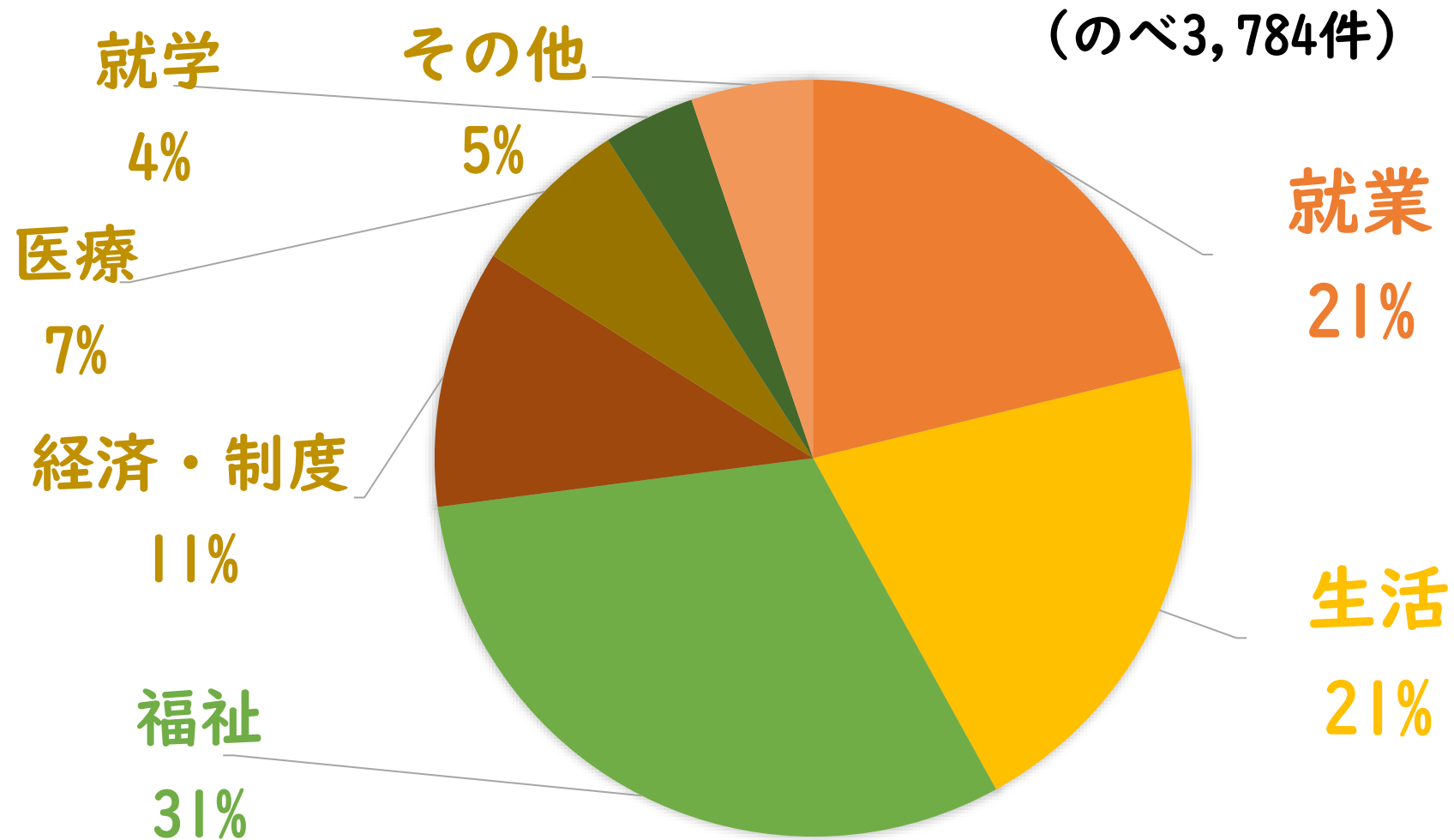
参考資料

◇R6支援実績（統計）

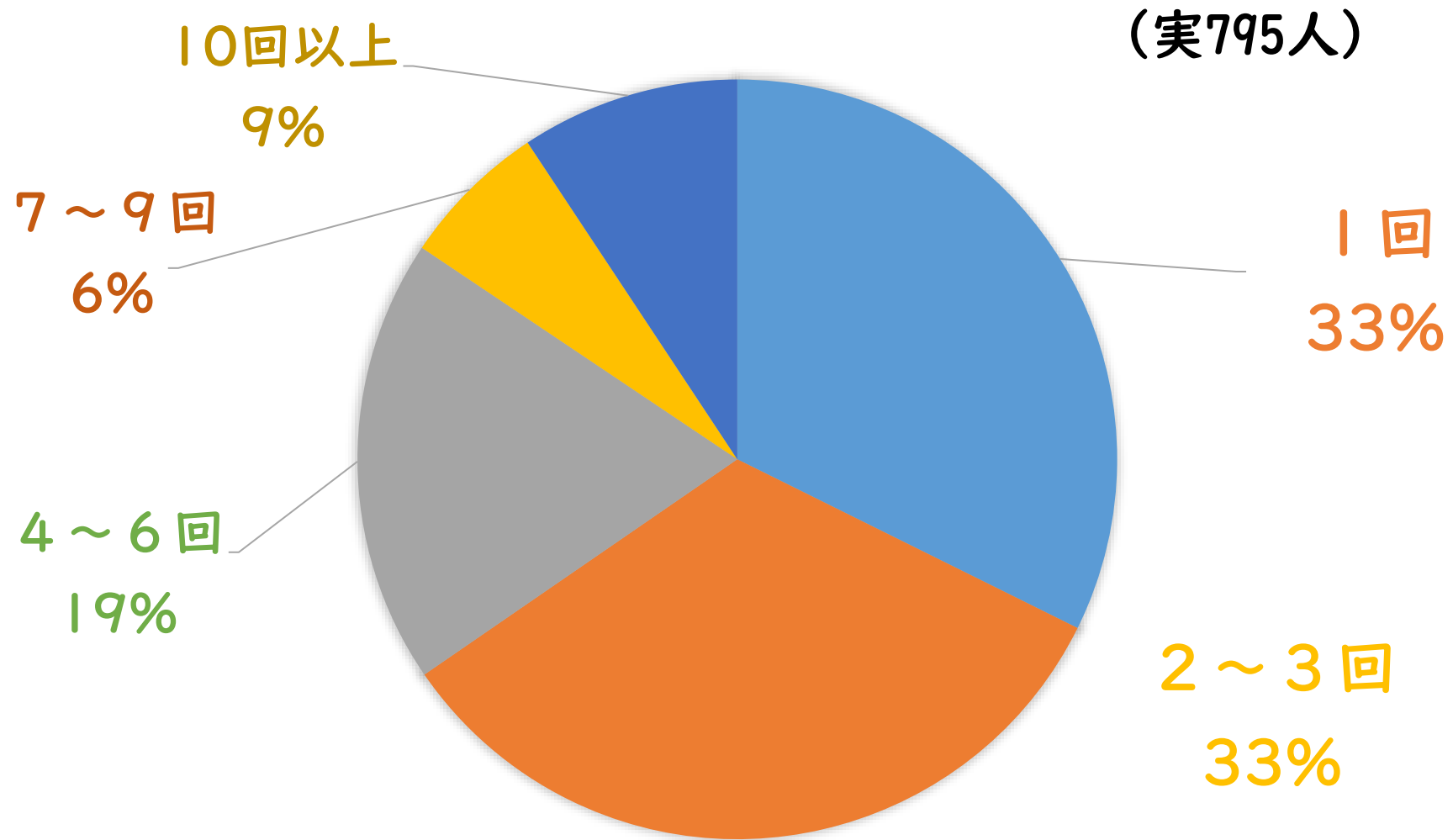
R6実績① 新患個別支援（疾患別）



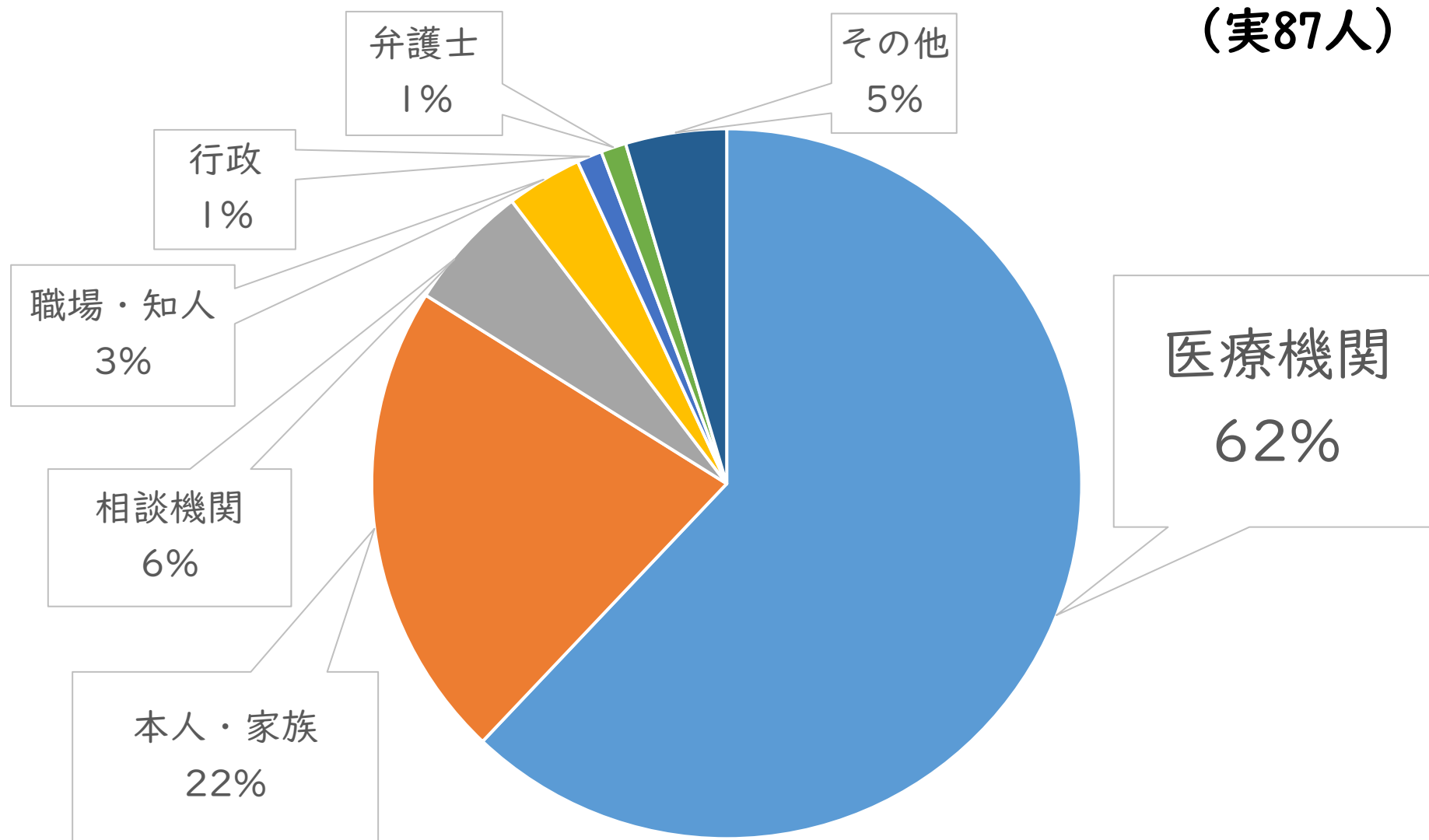
R6実績② 個別支援（相談内容別）



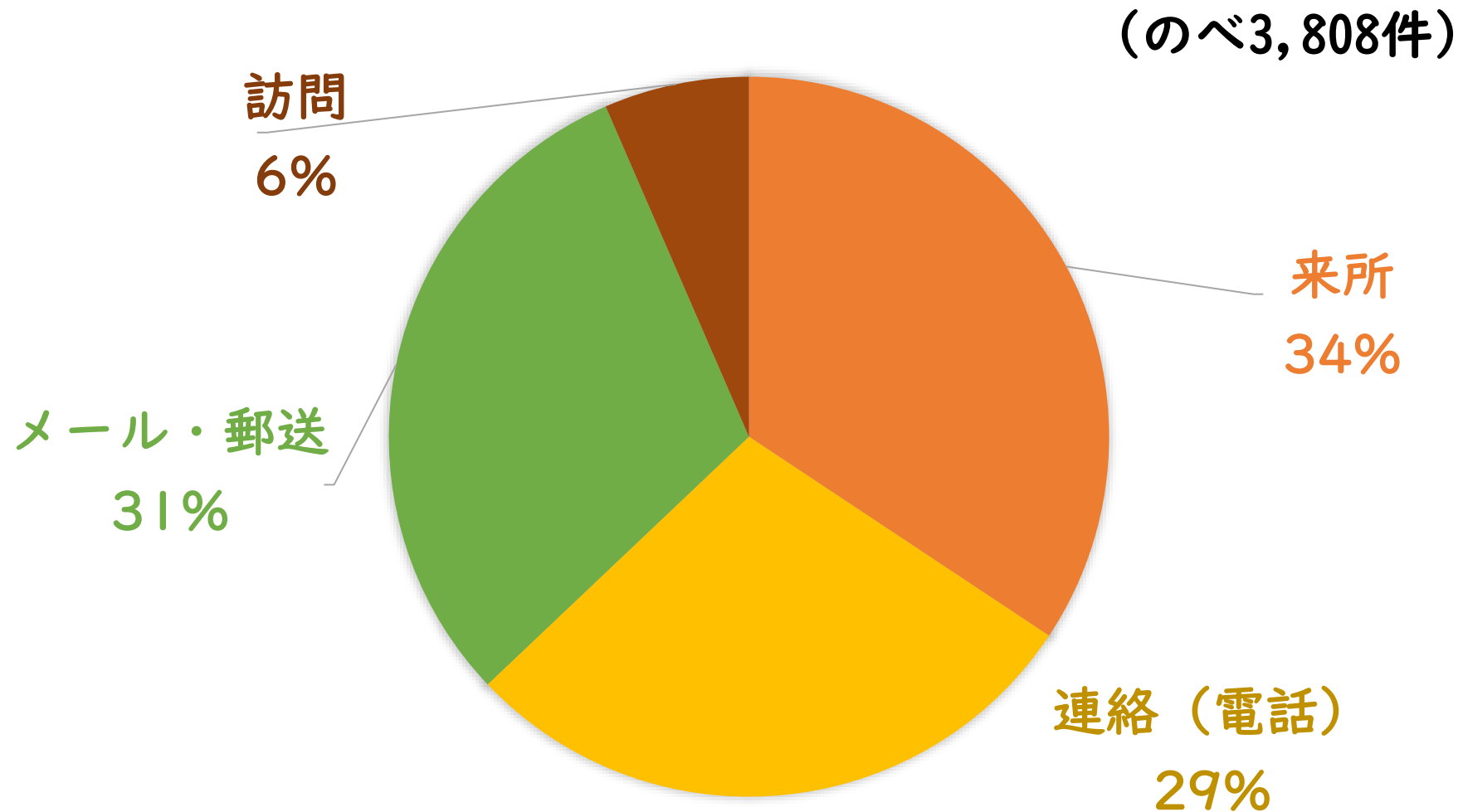
R6実績③ 個別支援（相談内容別）



R6実績④ 新患紹介元



R6実績⑤ 地域連携（相談方法別）



R6実績⑥ 地域連携先

